

平成 23 年 4 月 12 日
北陸電力株式会社

志賀原子力発電所周辺の放射性ヨウ素、放射性セシウムの検出について（続報）

当社は福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、志賀原子力発電所の環境放射線監視を強化しています。

以下に、本日の測定結果をお知らせします。

志賀原子力発電所の敷地内で検出された放射性物質の濃度

採取地点 \ 放射性物質	ヨウ素 131	セシウム 134	セシウム 137	試料採取期間
発電所敷地内 (降下物中)	検出されず	検出されず	検出されず	平成 23 年 4 月 10 日 9:45 ~ 4 月 11 日 9:45
発電所敷地内 (大気中)	2.4×10^{-3} [ベクレル/m ³]	検出されず	検出されず	平成 23 年 4 月 11 日 9:00 ~ 4 月 12 日 8:56

上記の大気中の放射性物質により受ける放射線量は、1日で約 0.0008 マイクロシーベルトであり、胸のエックス線検診（1回）で受ける放射線量（60 マイクロシーベルト）と比べると約 7 万分の 1 と十分低い値です。

以上